

# 新秋芳総合支所庁舎等複合施設に関する 市民ワークショップ便り

No.6

2022.7.27

## 第6回市民ワークショップを開催しました

※ワークショップとは、グループに分かれて意見やアイデアを出し合い、考えをまとめていく話し合いの手法のことです。

新秋芳総合支所庁舎等複合施設の整備については、昨年1月に基本設計を策定し、建物の基本的な構成や配置などをお示ししました。

昨年度は、この基本設計をもとに3回にわたるワークショップを開催し、住民の皆様から活発なご意見をいただきました。

今年度は、実施設計の事業者が決まり、皆様からいただいたご意見を反映させた実施設計素案をお示し、これを元に、完成後の使い方等、より具体的な議論を進めてまいりました。

第6回目のワークショップでは、今回の話し合いの主なテーマである「多目的ホールの使い方」「子どもの居場所としての機能」「外のホール(中庭)の使い方」等についての説明をした後、18名の参加者が4グループに分かれ、意見やアイデアを出し合いました。

今回が最後のワークショップとなりましたが、各グループとも和気あいあいとした雰囲気の中で、積極的に意見を交わされていました。

### ◆第6回(7月5日)のようす



市の担当者から、ワークショップの内容と目的について説明しました



実施設計を担当する龍環境計画の内田代表から、実施設計の素案等について説明がありました



4つのグループに分かれて、意見やアイデアを出し合いました



最後に、各グループのリーダーが、話し合いの内容を発表しました

## ◆グループワークで出てきた意見やアイデア

### 多目的ホールの使い方

- ・災害時には、情報センターとしての役割をしっかりと果たす場所となるようにしてほしい。
- ・雨天時に、キッチンカーが乗り入れられるようにしてほしい。
- ・仮設ステージは使いやすいものになるようにしてほしい。
- ・土足での利用が可能となったが、清掃のことなどを考慮した工夫をしたほうがよいのではないか。

### 子どもの居場所としての機能

- ・子どもが、屋内でも屋外でも遊べるような可動式の遊具があるといい。
- ・和室が子どもの居場所となるよう、予約無し、無料で使用できるようにしてほしい。
- ・和室が施設の入口から離れているので、子ども連れが入りやすい動線となるよう工夫してほしい。
- ・中庭のまわりに、ケンケンパーや動物の足あとが描いてあったり、自由に落書きができて水で消すことのできる壁があるなど、子ども達が外で遊べる仕組みがあるといい。

### 外のホール(中庭)の使い方

- ・人工芝など、子どもが転倒したときなどに安全で、維持管理が容易な素材がよいのではないか。
- ・砂場、手洗い・足洗い場を設けて、子ども達が遊べる場所となるようにしてほしい。
- ・照明器具が必要。ベンチがあると色んな世代の方にとって使いやすい。
- ・ペットを一時的に預けておけるような場所があるといい。
- ・自動販売機が外にあるといい。

### その他

- ・新しい施設を有意義に使っていくには、住民の協力が不可欠で、そのための仕組みづくりが必要。
- ・授乳室は、広く使いやすいものとなるようにしてほしい。
- ・各部屋の利用状況が一目で分かるような仕組みがあるといい。

6回にわたり開催したワークショップは、今回で最終回となりました。たくさんの皆さまのご参加、誠にありがとうございました。ワークショップでいただいた貴重なご意見・アイデアを、実施設計やオープン後の運営に反映してまいります。また、新しい施設を地域のにぎわいへとつなげていくため、話し合いを続けていく予定としています。

#### 【問合せ先】

美祢市秋芳総合支所 総合窓口班  
〒754-0601 美祢市秋芳町秋吉 5335-1  
TEL 0837-62-1910  
FAX 0837-62-1828  
Mail s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp